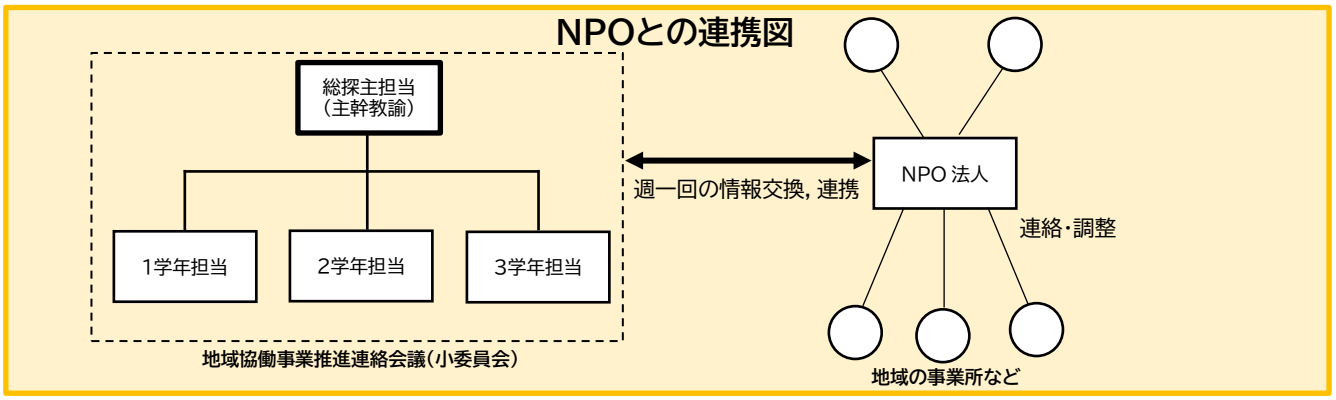
# E 高校　～地元NPO法人と学校が連携している～

地域の資源を生かした総合的な探究の時間を進めているE高校では，地元NPO法人と連携するとともに，その実践のための校内体制を整えています。

## 地元NPO法人

地元ＮＰＯと学校が連携することにより，地域の事業所や行政機関，卒業生の学習活動への参画を円滑にしています。具体的な取組としては，総合的な探究の時間（以下「総探」）の担当者とＮＰＯの担当者が週一回情報交換の機会を設定しています。情報交換の機会を設定することで，学校とＮＰＯ間での共通理解が深まり，生徒への指導に役立っています。情報交換にはそれぞれの学年の総探担当者も出席することから，学年間の情報共有も図られています。




## 年間指導計画

１年生は事業所訪問を実施し，地域の事業所や行政機関との交流の機会が設定されています。事業所訪問は，単なる職場体験ではなく，訪問した事業所から与えられた課題に対して生徒が解決策を考え，プレゼンを行い，課題に応えるという学習活動を行っています。

２年生は地域について学んだ１年生の学習の成果を基に，地域の魅力について新たに発見することを目標に学習活動を行っています。学習活動は興味・関心の似た生徒たちで作ったグループを基本として実施し，現地取材を行っています。現地取材は夏季休業中に学校所在の地域を中心に行っています。その後，９月に中間発表，１１月に最終報告を行います。

３年生は１，２年生での学習成果を活かし，個人で自分の興味・関心のあることをテーマに課題研究に取り組んでいます。なお，年間指導計画は毎年少しずつ更新しています。

## 教師の姿

教師が自分の興味・関心のあることに対して探究活動を行い，その成果を生徒に対して発表する機会も設けられています。探究活動に教師が「自分のこと」として取り組む姿を見せることで，生徒の取り組む探究活動の良い見本になっています。